

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	60.9%					○
算数	56.4%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%					○
情報の扱い方に関する事項	52.3%					○
話すこと・聞くこと	65.8%					○
書くこと	45.7%					○
読むこと	65.9%				○	

【考 察】

- すべての領域において、全国平均正答率を上回ることができました。特に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを作文にまとめる問題の正答率が非常に高く、授業で自分の考えをノートに書く学習が成果につながったと考えられます。
- 複数の文章を読み比べて、目的に応じて必要な情報を見つける問題に課題が見られましたので、今後、説明的な文章や資料の読み取りを中心に、必要な情報を選んだり整理したりして、文章を正しく読む力を高めていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%					○
図 形	55.3%					○
測 定	78.1%					○
変化と関係	41.1%					○
データの活用	48.6%					○

【考 察】

- 全ての領域において、全国平均正答率を上回ることができました。「図形」の領域では、立方体の体積を求める問題や箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べる問題において高い正答率でした。これは、授業で式を立てるだけでなく、図や文章で自分の考えを書いたり、友達に説明したりする活動が成果につながったと考えられます。
- 「変化と関係」の領域では、百分率で表された割合と比べる量からもとにする量を求める問題に課題が見られました。今後、問題場面から割合の関係を正しく捉えられるよう、図を使って説明し合う活動などを授業に取り入れ、くり返し指導していきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小 6	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
	五箇小	20.0	70.0	10.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」と肯定的な回答をした児童の割合は90%と高く、よい傾向にあります。授業において、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりすることで、さらに考えを深め子ども達が主体的に学習に取り組めるようにしていきます。
- 分からないことをそのままにせず、先生や友達に聞いたり、タブレット端末を使って調べたりするなど、方法を自分で選択して解決することができています。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
	五箇小	0.0	0.0	70.0	20.0	0.0	10.0

(単位 %)

【考 察】

- 五箇小学校では、家庭学習のきまりとして「学年×10分+20分」と設定しており、70%の児童がこの目標を達成できています。多くの児童が家庭学習の習慣化が図られ、目的をもって学習に取り組んでいると考えられます。今後も、毎学期行っている国語・算数確認テストでの合格や間違えた問題の復習など、計画的に家庭学習に取り組めるよう指導していきます。
- 1時間に満たない児童については、目標を設定したり、友達のノートを参考にさせたりするなどの家庭学習の取り組み方についてアドバイスをを行い、家庭学習の習慣化が図れるよう指導していきます。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
	五箇小	3 0. 0	7 0. 0	0. 0	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 授業の中で、自分の学びを振り返る時間を設定しています。授業の中で分かったことや分からなかったことを見つめ直すことで、次の授業でもこれまで学習したことを生かして学ぶことができています。
- 今後も学習内容を整理し、分かった点やよく分からなかった点、さらに詳しく知りたいことなどをまとめられるように時間を確保したり、授業の要点を分かりやすくまとめたりするなど、授業の改善を図っていきます。

- 4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	5 2. 7	3 8. 7	5. 5	1. 3
	五箇小	8 0. 0	2 0. 0	0. 0	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 全ての児童が肯定的な回答をしました。児童同士の温かい信頼関係は、楽しい学校生活を送るだけでなく、学力向上の側面からも互いに学び合えるよい環境と言えます。
- 今後も継続的に、学級活動や委員会活動などを通して、よりよい学級、よりよい学校を目指してどんな取り組みができるのか、児童主体に話し合い活動を行うことで、協力し合う態度の育成に努めていきます。